

## 透析患者の特別養護老人ホーム入所について要望！

透析患者の高齢化が進み、加えて独居高齢者や老々介護世帯も増加し、長期透析による合併症により自力での通院が困難になり、特養に入りたくても透析を受けていることを理由に入所できないことが、大きな問題になっています。

新潟市の対策を紹介し、柔軟な対応を求めたところ、特養入所者の医療依存度調査を実施し、実態把握を行うとともに、医療機関との連携作りの支援策や今後の特養の整備方針を検討するとの答弁がありました。



## 医療費適正化事業について質問！

「世界一の制度」と評価されている日本の国民皆保険制度を堅持するため、医療費適正化事業について質問しました。

広島県呉市で成果が出たジェネリック通知の促進と診療報酬明細書(レセプト)情報を基に医療費分析を行い、重複受診・頻回受診の抑制を図り、更に透析移行の最大の原因である糖尿病性腎症(糖尿病の重症化)予防のために、保健指導を行うことにより、年間20億円以上の医療費適正化が図れることを訴えました。当局からはこれらの課題を解決するための検討を行ってまいりますとの答弁がありました。

## 震災時におけるトイレの使用について提案！

小中学校のトイレについて、発災直後でも早期使用を可能にする対策として、簡易パック式トイレの配備を提案。

市から、簡易洋式トイレの配備について検討していきたいとの回答を頂きました。



## 難聴児童生徒のためFM補聴システム整備の提案！

小中学校に通う難聴児童生徒が、より確かな補聴環境を得るため、補聴器に装着して利用するFM補聴システム(送信機)が有効であると提案。送信機からFM電波を使って教師や級友の声を直接補聴器に伝え明瞭に聞き取れるようになります。購入には約20万円かかり家庭の負担になることから、難聴児の補聴環境を整えることは行政の責務であると訴えました。

教育長からは市が責任を持って整備するべきとの考え方が初めて示され、FM補聴システムが利用できるよう送信機の配備に務めるとの回答を引き出しました。



## 生活保護受給世帯学習支援事業について要望！

生活保護受給世帯における中学生の高校進学率が全体と比較して低い実態を指摘。所得格差から教育格差への『負の連鎖』を防止する上で、受給世帯の子どもたちへの学習支援事業の実施を強く要望したところ、市側から「子供たちが将来の希望を失わず、全員が高校に進学し夢を実現できるよう、来年度からの実施に向け検討をしたい」との答弁を引き出しました。

## 老朽危険家屋等への対策について質問！

老朽危険家屋や不適正管理状態にある空き家に対し実態調査を行うとともに、対策を講じるよう質問。

複数区にて実態調査を行うとともに対策について庁内で検討会を開催していくとの答弁がありました。



## 名古屋港管理組合への負担金について要望！

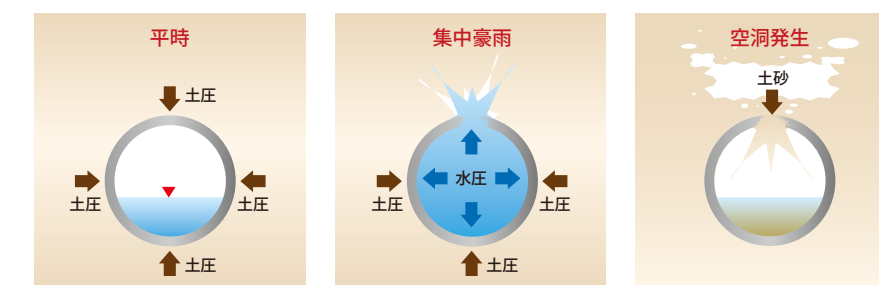
名古屋港は名古屋市をはじめとする4市1村にわたる広大な陸域を有する我が国を代表する国際総合港湾です。名古屋市と愛知県は名古屋港管理組合へ毎年負担金を支払っています。本年度、市は約48億円の負担金を出しています。負担金は平成11年以降増加を続け数年後には50億円を超える見込みです。長引く不況や少子高齢化のため税収が減少している中で負担金が増え続けていくことは市の財政にとって文字通り負担になっていることから、負担金の減額を要望。

市は管理組合に対し更なる行革を求めるとともに、個別の事業の精査も行い適切な負担金額の決定に務めるとの答弁がありました。

## 震災時における道路陥没事故を未然に防止するための取り組みについて質問！

震災時の道路陥没事故を未然に防止するための今までの取り組みと、今後の展開について質問。

市から幹線道路の調査を引き続き実施し、空洞の補修に努めるとともに、調査をもとに関係機関と方策を検討していくとの答弁がありました。



## 震災時における下水道の緊急対応について質問！

震災時に埋設されている下水道管が破裂し、上流部から下水があふれた場合の具体的な対策について質問。

市から、災害時の対処法を早急に策定し、発災した際の下水道利用について危機感を強く持ち事業を進めていくとの答弁がありました。

